進路指導だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第２号
平成２６年１２月１２日発行

同窓会総会・成人を祝う会が行われました

７月２６日（土）に本校にて同窓会総会後、成人を祝う会が行われました。今年度は平成２４年度の卒業生１３名が新成人となりました。それぞれの近況を話したり、御家族のみなさんや職員から一言頂いたりしながら、和やかな雰囲気の中で祝うことができました。

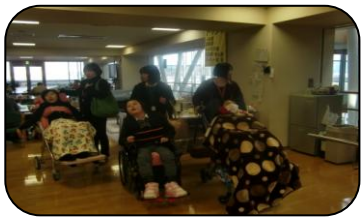
職場見学に行こう～中学部・総合的な学習の時間より～

中学部では総合的な学習の時間で将来の生活や進路に関する学習をしており、職場見学や作業学習強調週間を計画しています。第１期として１１月１３日（木）「障害者支援施設秋田ワークセンター」を見学しました。軍手が出来上がるまでの工程や印刷機械、パソコンを使った仕事を見学し、工場のような職場に緊張した様子が見られました。見学後に仕事や給料、通勤に関することなど、将来の生活を意識した質問が多く出され、関心の高さが伺えました。同行した保護者の方々からも多くの質問があり、進路に関して考えるよい機会になりました。

秋田県特別支援学校職業教育フェスティバル

秋田市にぎわい交流センターAU にて７月１１日（金）に開催されました。本校からは高等部２年１組の保坂勇人さんがパソコンデータ入力部門に出場し、練習の成果を発揮しながら頑張りました。技能競技大会終了後に行われた作業学習実践交流会では緊張しつつも、きらりの作業製品を堂々と紹介しました。

頑張りました！高等部後期実習11月10日～21日



高等部では、卒業後の生活に具体的なイメージを持つことでより適切な進路選択ができるように、施設見学や体験実習（１日）、現場実習（２日以上）を中心に実習を行いました。

１年生は見学先で「外出する行事やカラオケ大会はありますか？」等、積極的に質問をしていました。初めて体験実習を行った生徒からは「仕事の楽しさと慎重に取り組むことの大切さを学んだ」という感想が聞かれました。また、３日間の現場実習を終えた２年生は「あっという間だった。次はもっと長い期間で挑戦したい」と、早くも次回への意気込みを語っていました。進路決定の最終段階である３年生にとっては、卒業後の生活に近い体験を通して「これからの自分に必要な力とは何か」に気付くことができる貴重な機会となりました。

県央地区移行支援ネットワーク会議 卒業後の福祉サービス利用説明会

９月５日（金）に県央地区移行支援ネットワーク会議が開かれ、初めに秋田育明会竹生寮の齋藤雅和さんより「学校在籍中に利用できる福祉サービスについて」という題目で講演をして頂きました。その後は７事業所の担当の方との個別面談をする時間が設けられ、いろいろな情報交換をすることができました。

９月１２日（金）秋田市福祉保健部の大門昭男さんより高等部卒業後の福祉サービス利用についての説明会が開かれました。高等部のみならず小・中学部の保護者の方や、療育センターの職員も参加し、「障がい者のためのくらしのしおり」に記載されている内容について更に詳しくお話を聞くことができました。

高等部「先輩と語る会」が行われました

１１月６日（木）「総合的な学習の時間」の授業で、旧秋田養護卒業、旧勝平養護卒業の先輩それぞれ２名をお呼びし、様々な質問に応えてもらう機会を設けました。先輩方の暮らしについて直接聞く機会はとても有意義であり、積極的に質問する姿が見られました。